令和9年産

小麦技術情報No.2

令和８年11月９日
巻農業普及指導センター

今年は、大豆の収穫が降雨により遅れたことに伴って、小麦のは種作業が遅れています。 越冬前の生育量確保に向け、**秋期追肥、湿害対策**を例年以上に徹底しましょう。

～越冬前の管理ポイント～

○越冬後の茎数を確保するため、**黄化症状が現れた場合は、秋期追肥を適期に実施**し、越冬前の生育量を確保しましょう。
○地表水が速やかに排水されるよう、**周囲明渠等の排水溝を定期的に点検し、ゴミや土塊による詰まりを取り除きましょう。**
○融雪時は、**融雪水が排水されているか点検しましょう。**

1　秋期追肥

【施用量・施用時期】

施用量	施用時期
窒素 2kg/10a	は種後２週間～１か月（11月末までに実施する）

・平均気温が４～５℃を下回ると追肥効果が劣るので、遅れずに施用しましょう。
※例年、平均気温が５℃になるのは12月10日頃です。
・秋期追肥量が多い場合、耐雪性が低下するので注意しましょう。
・排水対策が不良な状態で追肥しても効果は期待できません。

2　排水対策

【排水溝の点検ポイント】

＊排水溝にゴミや土塊がたまっていませんか?

＊排水溝は排水口に繋がっていますか?

＊排水溝は崩れていませんか?

